

地拵特記仕様書

令和8年度 筏場地区造林（地拵外）請負事業

1. 植幅及び置幅

作業種	作業仕様			適用林小班等
全刈地拵	植幅	2.6	m以上	207いへ（スギ）
	置幅	1.6	m以内	
全刈地拵	植幅	2.5	m以上	207いへ（ヒノキ）
	置幅	1.5	m以内	

（注）寸法の単位は、m以下1位（10cm単位）とする。

上記、作業仕様別の区域は、植付図面の樹種毎の区域に準ずる。

2. 末木枝条等の集積については、1の筋置を原則とするが、優先的に搬出作業道への集積を行うこと。
ただし、作業道敷の谷側1m程度を確保し山側に集積すること。
3. 集積物の高さは2mを超えないこと。
また、関東森林管理局仕様書のとおり、集積物安定のための枝条等の切断、杭打ちなどの必要な措置を講ずること。
4. 獣害防護柵の設置を予定する箇所には枝条等を置かないこと。
5. 現場での判断が難しい場合には、監督職員と協議し、その指示に基づき作業を行うこと。
6. CSF（豚熱）の感染拡大防止のため、静岡県におけるCSF対策を熟知して適切な対策に努めること。

植付特記仕様書

令和8年度 筏場地区造林（地拵外）請負事業

(1) 「スギ及びヒノキ特定苗木の安定生産・調達に関する協定」の苗木の使用について

- ① 本事業の一部においては、「スギ及びヒノキ特定苗木の安定生産・調達に関する協定」の苗木を使用するので、協定者より苗木を購入すること。
- ② 協定苗の植栽時期は、令和8年度秋期（概ね10月から11月）とし、天変地異その他やむを得ない事由がある場合を除き、これ以降の時期に持ち越すことはできない。
- ③ 請負者は協定者と納入時期、場所等について連絡・調整を図ることとし、請負契約の円滑な遂行に努めること。
- ④ 苗木の納入方法等は、協定内容の定めに従うこととするが、天変地異その他やむを得ない事由がある場合は、発注者と変更の協議をすることができる。

(2) 苗木の仕様

樹種	コンテナ容量	苗長 (cm)	根元径 (mm)	本数	摘要
スギ	150ccまたは 300cc	30～	3.5～	15,840	花粉症対策 コンテナ苗
ヒノキ 特定苗木 (生産協定)	150cc以上	30～	3.5～	3,300	花粉症対策 コンテナ苗
ヒノキ	150ccまたは 300cc	30～	3.5～	2,420	花粉症対策 コンテナ苗

(備考)コンテナ苗について上記仕様のほか、形状比（苗長／根本径）は100未満を目安とし、これを超える場合は、根鉢や枝葉の発育状況により良好な苗木であることが確認できることを前提に監督職員と協議すること。

※花粉症対策苗は無花粉苗、少花粉苗及び低花粉苗とする。

苗木の調達が地元県内では困難で、隣接都県から調達可能な場合は、当該都県の苗木を使用する。苗木の輸送は請負者負担による。

2. 植付本数及び苗木の植付間隔

植付樹種	植付本数 (本)	植付間隔 (水平距離)		適用 林小班	ha当たり 植付本数 (本)	備考
		列間 (m)	苗間 (m)			
スギ (コンテナ苗)	15,840	2.1	2.1	207いへ	2,200	
ヒノキ (コンテナ苗)	5,720	2.0	2.0	207いへ	2,400	特定苗3,300本含む

(注) 寸法の単位は、m以下1位(10cm単位)とする。

3. その他

- ・立木がある場合は樹下への植栽は避ける。
- ・作業道、岩石地、枝条堆積地で植付除地としているところへの植栽は避ける。
- ・獣害防護柵の設置後行うこととし、獣害防護柵から距離(1.5m程度)を保って植栽する。
- ・事前に監督職員の指示を受けるものとする。

2. 植付本数及び苗木の植付間隔

植付樹種	植付本数 (本)	植付間隔 (水平距離)		適用 林小班	ha当たり 植付本数 (本)	備考
		列間 (m)	苗間 (m)			
スギ (コンテナ苗)	15,840	2.1	2.1	207いへ	2,200	
ヒノキ (コンテナ苗)	5,720	2.0	2.0	207いへ	2,400	特定苗3,300本含む

(注) 寸法の単位は、m以下1位(10cm単位)とする。

3. その他

- ・立木がある場合は樹下への植栽は避ける。
- ・作業道、岩石地、枝条堆積地で植付除地としているところへの植栽は避ける。
- ・獣害防護柵の設置後行うこととし、獣害防護柵から距離(1.5m程度)を保って植栽する。
- ・事前に監督職員の指示を受けるものとする。

獣害防護柵（金網獣害防護柵）設置特記仕様書

令和8年度 筏場地区造林（地拵外）請負事業

（1）作設位置

作設位置は、図面及び現地において表示してある箇所とする。ただし、地形、土壤条件等により設置が困難な場合は、監督職員と協議すること。

（2）構造及び使用資材

別紙標準図及び材料表のとおり。使用資材については、全数量について監督職員の納品確認を受けることとし、設置後余分な資材が生じた場合は、監督職員に引き渡すこととする。

（3）作業方法等

- ① 支柱（270cm）は地中に60cm埋め込み、ぐらつかないように設置する。
- ② 支柱設置間隔は4.0m間隔を標準とする。
- ③ 控柱設置は12m間隔を標準とする。コーナー部等柵への負荷が大きい箇所等、特に必要とされるところがある場合は、監督職員と協議し、補強用控え柱を設置する。
- ④ 下段フェンスは折返し部分（30cm）を地面に密着させ、浮き上がらないようアンカーピンで固定する。アンカーピンは支柱間隔4.0mの間に4本打ち込みを標準とする。
- ⑤ 出入口数は請負事業調書のとおり。設置位置は図面の位置をもとし、詳細な位置については監督職員の指示を受けるものとする。出入口部が両側から引っ張られ、広がるのを防ぐため、上部に補強線を通すこととする。
- ⑥ 柵のできあがり寸法（高さ）は、緩傾斜地において2.0mとする。急傾斜地においては、支柱上部に上段金網を合わせ、可能な限りできあがり寸法を高くすることとする。

（4）その他

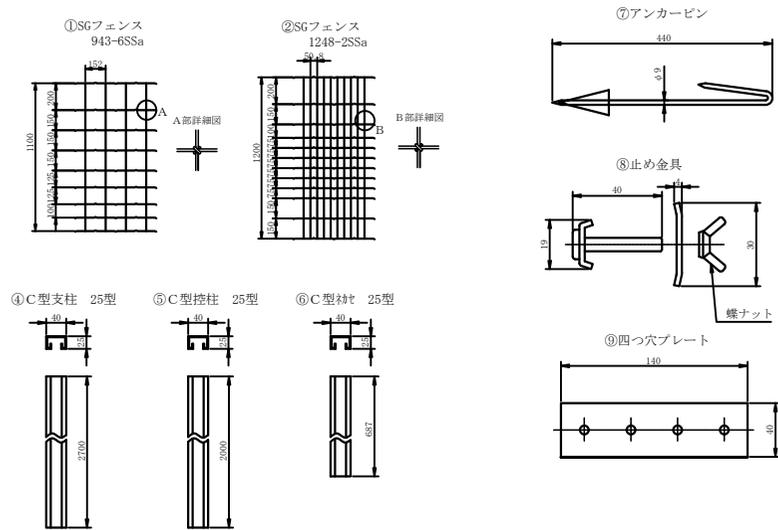
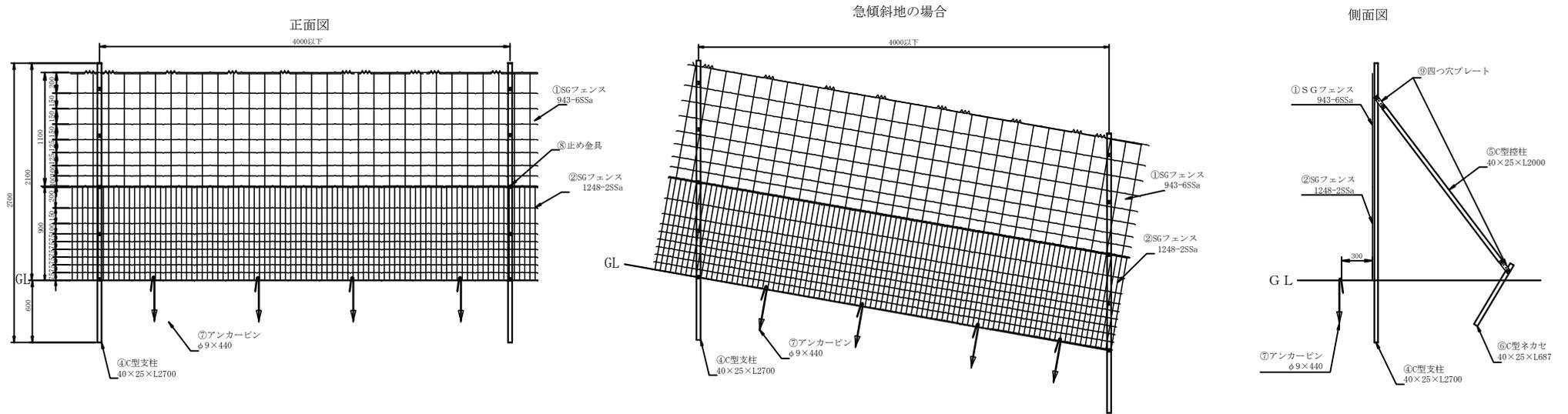
- ① 完了時には柵内にシカが入っていないか十分確認し、シカ発見時には追い出すこと。
- ② 獣害防護柵設置は、保安林協議終了後に実施すること。
- ③ この仕様書に定めのない事項については、監督職員と協議すること。

獣害防護柵（金網柵）全量材料表（割増含む）
（事業地：筏場国有林207いへ林小班）

令和8年度 筏場地区造林（地拵外）請負事業

品名	規格	1,645 mあたり			備考
		数量	単位	総重量(kg)	
金網（上段用）	943-6Ssa H1.1m(25m/巻)	70	巻	749.00	
金網（下段用）	1248-2SSa-A H1.2m(15m/巻)	119	巻	1,892.10	
C型支柱	PH 2 5 40*25*2700mm	445	本	1,682.10	4.0m 間隔支柱、出入口分を含む
C型支柱（控柱）	PH 2 5 40*25*2000mm	171	本	478.80	12.0m 間隔
C型支柱（ネカセ）	PH 2 5 40*25*687mm	165	本	148.50	12.0m 間隔
控柱・ネカセ接続金具	4穴プレート	329	個	45.40	2個/控柱1本
補強線	2.6mm	83	巻	83.00	1kg*1巻、上部補強用・出入口補強用含む
アンカーピン	9*440mm	1,810	本	543.00	1区画（4m）に4本
止金具	C型支柱、 4穴プレート分	2,991	個	101.69	5個/支柱1本 2個/4穴プレート1個 出入口分を含む
小計				5,723.59	

獣害防護柵設置標準図



品番	品名	規格・寸法	材 料	重量
①	SGクロスフェンス 943-6SSa	高さ:1100mm 長さ:25m/巻	JIS G3547 SWMGS-4 横最上線・横最下線・縦線径 φ2.0mm 横中間線径 φ2.0mm	10.7kg
②	SGクロスフェンス 1248-2SSa	高さ:1200mm 長さ:15m/巻	横最上下線: JIS G3548 SWMGS-4 φ2.5mm 横中間線: JIS G3548 SWMGS-4 φ2.0mm 縦線: JIS G3548 SWMGS-4 φ2.0mm	15.9kg
④	C型支柱 25型	長さ:2700mm	JIS G3131 SPHC t1.4 亜鉛めっき	3.78kg
⑤	C型控柱 25型	長さ:2000mm	JIS G3131 SPHC t1.4 亜鉛めっき	2.8kg
⑥	C型柵柱 25型	長さ:687mm	JIS G3131 SPHC t1.4 亜鉛めっき	0.9kg
⑦	アンカーピン	左図寸法	JIS G3532 SWM-B 亜鉛めっき	0.3kg
⑧	止め金具	左図寸法	亜鉛めっき	0.03kg
⑨	四つ穴プレート	左図寸法	亜鉛めっき	0.14kg

獣害防護柵（硬質ステンレス（WPB）入りネット）設置特記仕様書

令和8年度 筏場地区造林（地拵外）請負事業

1 作設位置

作設位置は、別紙事業地別特記仕様書 図 46-1 及び現地において表示してある箇所とする。詳細な位置については、監督職員の指示を受けるものとし、地形、土壌条件等により設置が困難な場合は、監督職員と協議すること。

2 構造及び使用資材

別紙、獣害防護柵（硬質ステンレス（WPB）入りネット）設置 特記仕様書の柵設標準図及び全量材料表のとおり。

使用資材については、全数量について監督職員の納品確認を受けることとし、設置後余分な資材が生じた場合は、監督職員に引き渡すこととする。

3 作業方法等

- (1) 支柱は地中に 50 cm埋め込み、簡単に抜けたり倒れたりしないようにしっかり固定する。
- (2) 支柱設置間隔は 3.0m間隔を標準とし、地形や勾配に応じて、その間隔を調整することとする。
- (3) 張りロープはφ8mm以上とし、シカ等がかかって暴れても切れない強度を有するものとする。
- (4) 裾押さえロープはφ4mm以上とし、設置部分を標準図のとおりアンカー杭で固定し、シカ等のもぐりこみやネットのめくれを完全に防ぐこと。また、シカ等がかかって暴れても切れない強度を有するものとする。
- (5) ワイヤロープを支柱の地際に取り付けた固定フックに外れないように固定し、緩みがないように緊張させて固定フックを打ち込む。
- (6) ネットは網目 7 cm の耐候性、耐疲労性、強度に優れたものを使用すること。また標準図のとおり支柱 1 本につき、2 箇所結束する。出入口用の支柱 1 本につき、2 箇所結束する。
- (7) 控え用ロープの設置間隔は 15mを標準とする。
- (8) カーテン式門扉については、支柱間 1.0mを標準とする。
- (9) 柵の出来上がり寸法は、高さ 1.8mとする。
- (10) 門扉の柵設位置は図面に表示してある箇所とし、詳細な位置については、監督職員の指示を受けるものとする。

4 その他

- (1) 獣害防護柵設置は、保安林協議終了後に実施すること。
- (2) 設置後、余分な資材が生じた場合には、監督職員へ引き渡すこととする。
- (3) この仕様書に定めのない事項については、監督職員の指示による。

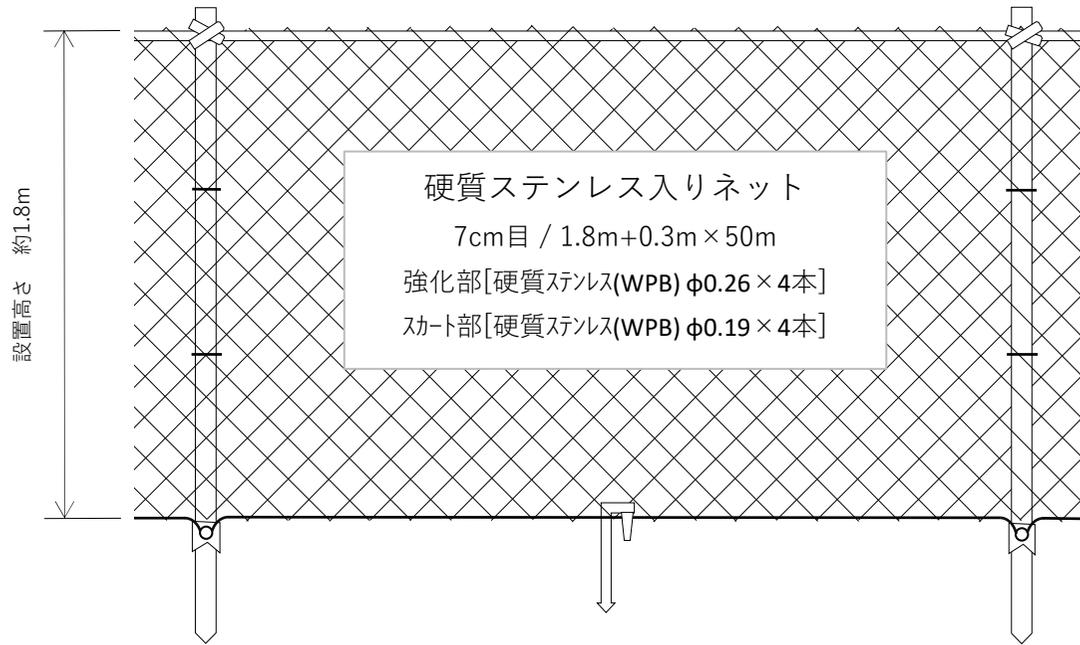
獣害防護柵（硬質ステンレス入り防獣ネット）全量材料表（割増含む）
 （事業地：筏場国有林207いへ林小班）

令和8年度 筏場地区造林（地拵外）請負事業

品名	規格	185 mあたり			備考
		数量	単位	総重量(kg)	
ネット	硬質ステンレス入りネット(1.8m+0.3m)*50m)/7cm目/ (上部) PE400d×40本/黒 (強化部) 硬質ステンレス線SUS304 (WPB) φ0.26×4本/PE400d×40本/青/ (裾部) ステンレス線SUS304 (WPB) φ0.19×4本/PE400d×40本/緑/	4	反	52.00	
ロープ	張り用(強力糸)ロープ/φ8mm/55m/ホ°ポリエチレン製(ネットに装着) 押さえ用(導き糸) スカート用ロープ/φ4mm/55m/ホ°ポリエチレン製(ネットに装着)				
支柱	コンポーズパイプ/FRP支柱/ABS被覆/φ38mm*2.4m	66	本	79.20	出入口用(3本)を含む
キャップ	ジョイント式キャップ/φ38mm用/ABS製	63	本	3.15	
控えロープ	ポリエチレンロープ/φ6mm×55m/青	1	巻	1.00	15m間隔に1箇所以上
杭	アンカー杭/ABS製/43cm	137	本	10.96	100m中、ネット部67本/控え7本
フック	ワイヤー固定具/φ38mm用/ABS製	63	個	3.78	
ワイヤー	ワイヤーロープ/紙ボビン式ステンレスワイヤーロープ/φ2mm/ 52m/WPB7×7	4	巻	4.00	
留め	ステンレスカット線/#19 0.25m (330本/束)	1	束	0.50	支柱とネットの結束用 出入口用を含む
小計				154.59	

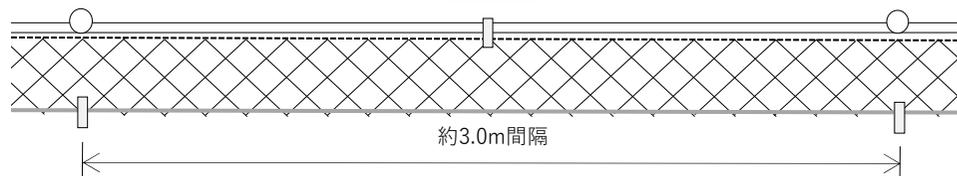
[設置展開図] 硬質ステンレス入りネット ワイヤーロープ工法 アンカー杭 (ABS製)

正面図

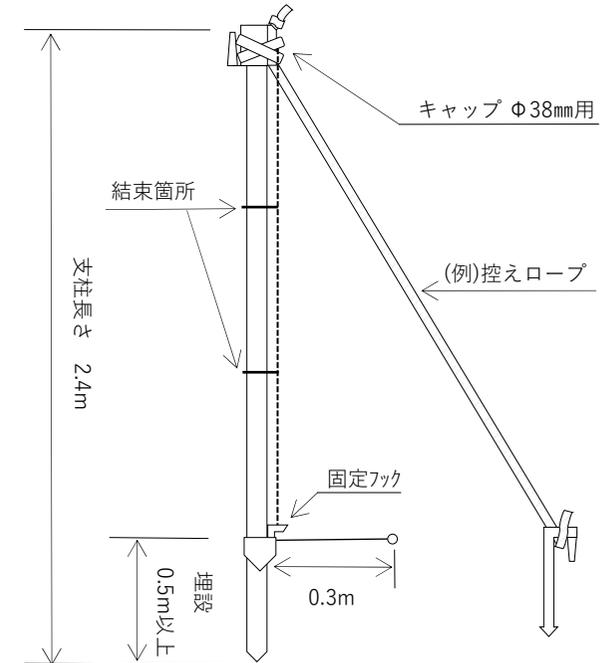


ポール間隔 約3.0m

真上図



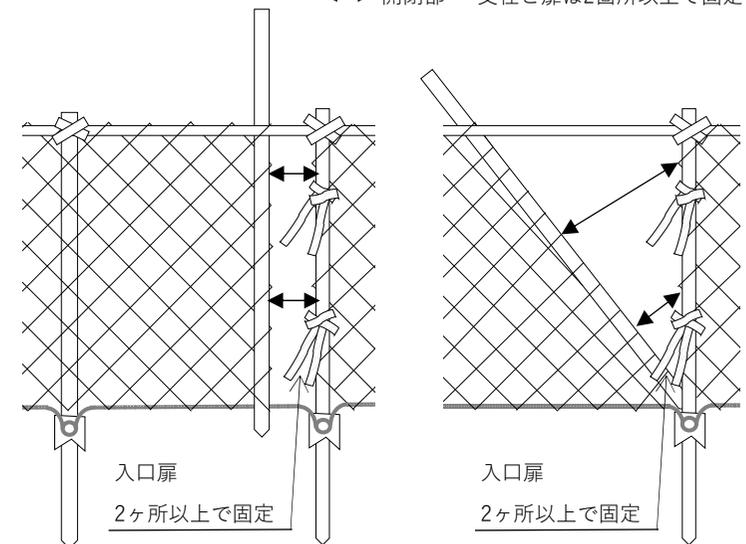
補強部 (例)



開口部 (例)

※監督職員の指示に従い、どちらかを選択

◀▶ 開閉部...支柱と扉は2箇所以上で固定



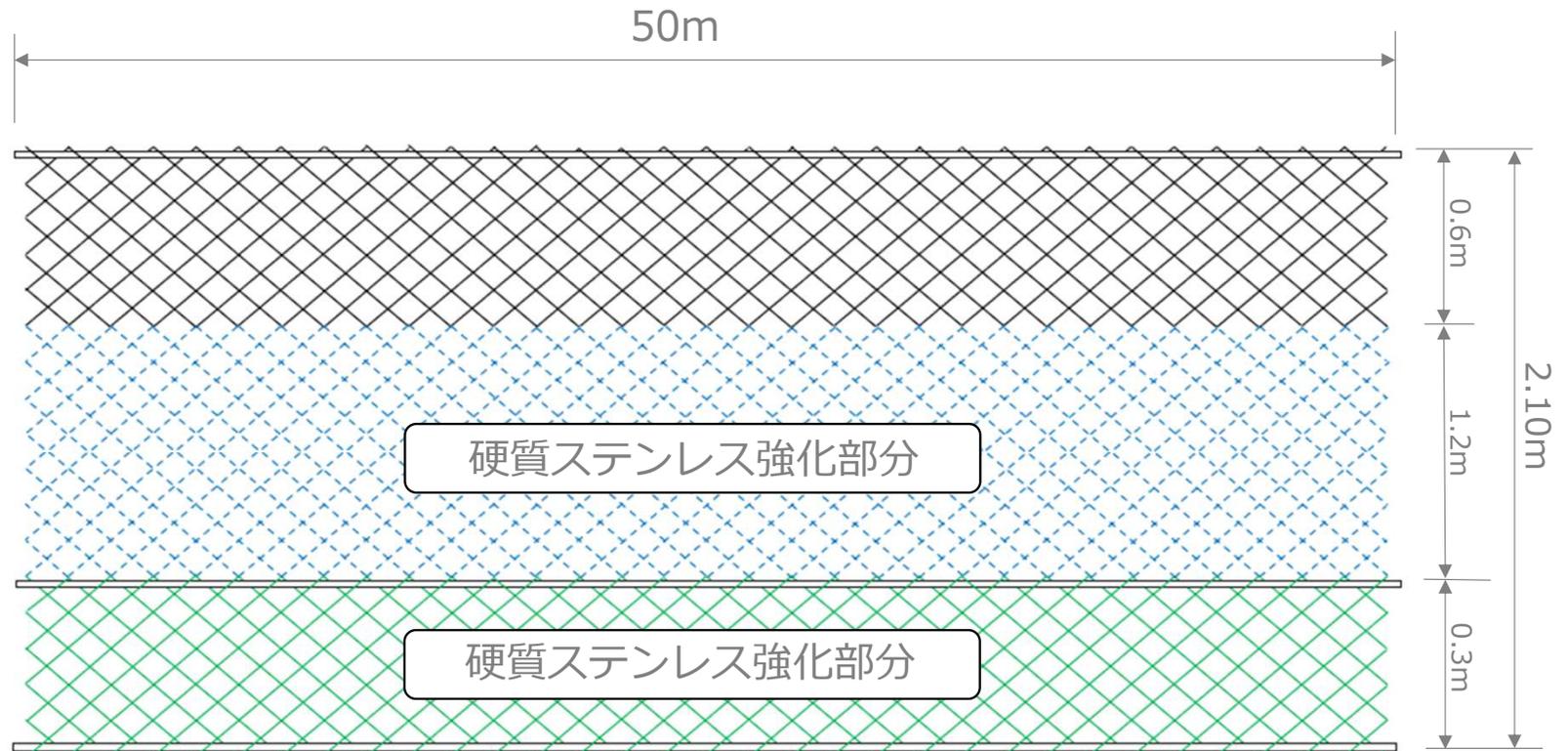
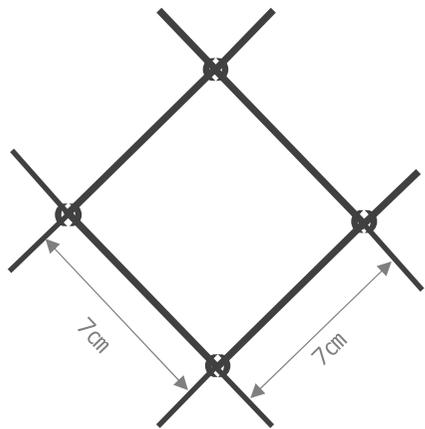
品名	仕様・規格	製品単体重量	100m当り
ネット	硬質ステンレス線(WPB)入り 1.8m+0.3m x 50m (7cm目) ④φ8mm ⑤糸 ⑥φ4mm 上部0.6m (黒) 下部1.2m (青) 裾部0.3m (緑) / 強化部 WPBφ0.26 x 4本	13.0kg/反	2.1反
支柱	FRP支柱 / φ38mm x 2.4m / FRP製・ABS被覆	1.20kg/本	34本
キャップ	ジョイント式キャップ / ABS製 / φ38mm用	0.05kg/個	34個
控え用ロープ	PEロープ / φ6mm x 55m / 青 / 7ヶ所設置	1.00kg/巻	0.5巻
杭	アンカー杭 / 43cm / ABS製 (ネット67本・控え7本)	0.08kg/本	74本
フック	固定フック / ABS製 / ワイヤーロープφ2mm線用	0.06kg/個	34個
ワイヤーロープ	ワイヤーロープ / ステンレス製 / 7 x 7 / φ2mm x 52m / 紙ボビン式 / スリーブ付	1.00kg/巻	2.1巻
結束	ステンレスカット線 / #19 x 0.25m・本 / 330本束	0.50kg/束	0.21束

硬質ステンレス入りポリネット
1.8m+0.3m×50m (7cm目)

- ・ 上部 0.6m ポリエチレン 400d(黒)
- ・ 下部 1.2m SUS304 (WPB)Φ0.26×4本(青)
- ・ スカート部 0.3m SUS304 (WPB)Φ0.19×4本(緑)
- ・ ロープ ①PE(強化糸入)Φ8mm ②導き糸 ③PEΦ4mm

13.0kg

二重交差式



単木保護 特記仕様書

令和8年度 筏場地区造林（地拵外）請負事業

（1）作設位置及び資材について

作設位置は、図面及び現地において表示してある箇所とする。ただし地形、土壌条件等により設置が困難な場合は、監督職員と協議すること。

（2）使用資材の取扱い及び設置方法について

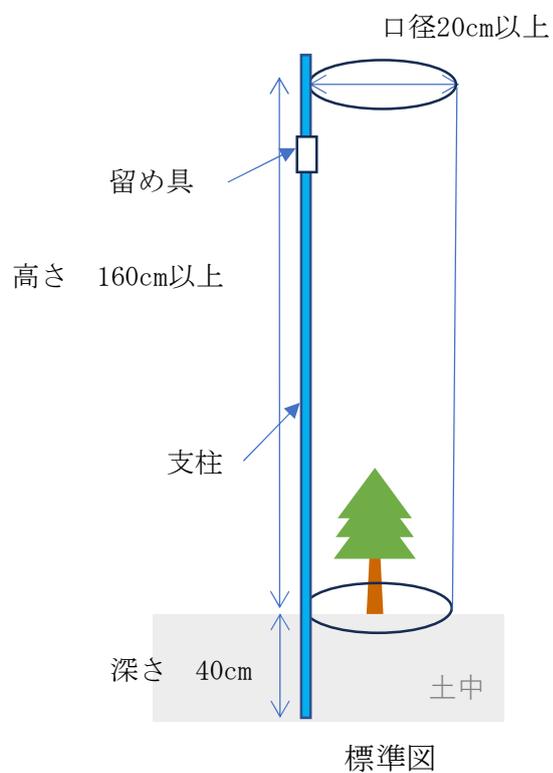
資材については、別紙材料表のとおり。

使用資材は全数量について、監督職員の納品確認を受けることとし、設置後余分な資材が生じた場合は、監督職員に引き渡すこととする。

また、設置方法は使用する製品等に定められた方法とする。

材料表：シカ被害防除単木保護資材（ネットタイプ）

材質・規格		摘要
支柱	材質：FRP、被覆鋼管等 Φ8mm以上、 高さ：200cm以上	1セットあたり：1本以上
止め具	材質：ナイロン、ステンレス鋼、被覆鋼管等	使用する資材の仕様に準ずるものとする。
本体	材質：ポリエチレン、ポリプロピレン、ポリエステル、バイオポリエステル等	
	高さ：170cm～180cm 目合：15mm×20mm以下	
杭	材質：ポリプロピレン、竹、FRP等	1セットあたり：1本以上



林地施肥特記仕様書

令和8年度 筏場地区造林（地拵外）請負事業

1. 使用肥料（例示品）

製品名	保証成分（%）	肥効期間	内容量
マウントキングS	N-P-K-Mg=12-6-6-2	2.0～2.5年	15 kg/袋（15g/個）

※ 上記は例示品であり、同等以上の性能を有する他製品の使用を認める。

2. 施肥の方法

- (1) 使用する肥料の使用方法を遵守すること。
- (2) 下図のとおり植栽木1本当たり6個の肥料を、植栽木の根元を中心に20cmの範囲内に概ね等間隔となるよう施肥すること。

また、急傾斜地等で設置した肥料が安定しない場合は、必要に応じて肥料が破損しない程度に踏圧すること。

